

医療ニーズ;正確な体表の位置決め



医療現場ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 放射線部

■放射線部ホームページ

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_clinic/radiology_dep/index.html

「正確な位置に放射線を照射したい」

■ニーズの背景

- 放射線治療では、正常な体の領域には放射線をあてたくない。
- コンピューターでシミュレーションはできるが、それでも実際どの部分に放射線があたっているかはわからない。
- 治療後副作用をきたす人が多い。
- 放射線が当たる領域を患者の体に投影(マッピング)できたり、照射してはいけない所に放射線があたりそうなときその部分をマッピングしてくれたら、それをガイドに姿勢の変化ができる。

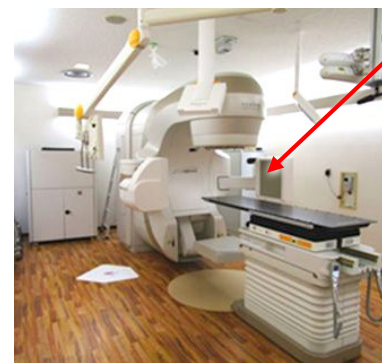
■現在の対応方法

- 技師の勤や経験によるところが多い。
- コンピューター上に表された画像を元に、姿勢を決めていく。画像と患者をいききしながら決めていく。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 国内(2012年)放射線治療患者数
推定新規患者数:25,200人、推定実患者数:213,000人
出典:<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000127460.pdf>

【イメージ・参考例】現状の装置



体表の位置決めを正確にできる機能が付いていない照射装置

機能アイデア例

- 体表の位置決めをガイドする機能
- 患者には非侵襲な機能
- 照射装置と連動する機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp